

「外交・安全保障関係シンクタンクのあり方に関する有識者懇談会」 実施の目的と今後の進め方

2012年4月20日
外務省総合外交政策局政策企画室

1. 目的

以下について議論を行い、その結果を外務大臣に政策提言として報告する。

- (1) 外交・安全保障関係シンクタンクが果たすべき役割を検討。
- (2) 日本の外交・安全保障関係シンクタンクの現状及び日本における位置付けを諸外国とも比較の上で整理し、上記(1)の役割を果たしているか否かを検討。
- (3) 政府と外交・安全保障関係シンクタンクとの望ましい関係のあり方、特に政府によるシンクタンクへの財政支援のあり方、について検討。

2. メンバー

別紙のとおり。

3. 進め方

(1) 庶務

懇談会の庶務は、外務省総合外交政策局政策企画室において処理する。

(2) 議事概要

各回会合終了後、速やかに議事概要を外務省HPに掲載する。

(了)

外交・安全保障関係シンクタンクのあり方に関する有識者懇談会
メンバー

※敬称略。姓の五十音順

座長

田中 直毅 国際公共政策研究センター理事長

メンバー

伊奈 久喜 日本経済新聞特別編集委員

大橋 光夫 昭和電工相談役

奥住 直明 東芝産業政策渉外部長

ロバート・フェルドマン
モルガン・スタンレーMUF G証券（株）経済調査部長

深川 由起子 早稲田大学教授

星野 俊也 大阪大学大学院教授

松田 康博 東京大学大学院情報学環教授

渡邊 啓貴 東京外国語大学大学院教授